

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第60号 12月28日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
発行責任者 古津 昇

## 目次

農家さん訪問記 (45) . . . . .	p.1
住友化学アグログループ紹介 レインボー薬品欄 . . . . .	p.6
今月の肥料紹介 . . . . .	p.7
今月のお奨め農薬 . . . . .	p.8
今月のご相談から . . . . .	p.9
お役立ちプチ情報 . . . . .	p.10
農薬登録情報 . . . . .	p.11
病害虫発生情報 . . . . .	p.13
最近の「お・・美味しい!」 . . . . .	p.14
コラム・そば談義 . . . . .	p.15
編集後記 . . . . .	p.15



カトリ(カトリ科)とミヤマホシジロ(ホシジロ科)

## 農家さん訪問記(45)

今年最後の農家さん訪問記は、福岡県八女市からお届けします。今回ご紹介するのは、IPMを積極的に取り入れて、いちごの栽培に励む樋口賢治さん(31)です。まだまだ若い樋口さんに、いろいろなお話を伺ってきました。(取材日 2009年11月27日)

## IPMでいちご(あまおう)作りに励む樋口さん

福岡空港から車で南へ走ること約1時間。その日の八女市は、さほど寒くなく過ごしやすい日和でした。樋口農園に到着すると、早速、樋口さんが笑顔で迎えてくれました。緊張のほぐれた我々をハウスに招き入れたところでインタビューが始まりました。

さて、今回は IPM 栽培を積極的に取り入れている農家さんの紹介です。本題に入る前に、まず、IPM について簡単に説明しておきましょう。IPM とは、病害虫防除を薬剤だけに頼るのではなく、いろいろな手段を組み合わせることで総合的に防除をはかる防除体系のことをいいます。その個別手段と

としては、天敵などを導入して害虫密度を減らしたりする「生物的防除」、防虫ネットなどを導入して防除する「物理的防除」、病気に強い品種を選んだり、病害虫が発生しづらい状態に保つ「耕種の防除」、それに、適切な薬剤を効果的に使うといった「化学的防除」があります。

施設栽培のいちごでは、施設内で多発するハダニが問題となります。ハダニは薬剤抵抗性が発達しやすく、薬剤による防除が難しい害虫であるだけでなく、いちごは生果を直接食べるた



樋口さんと奥さん(これは違う季節に撮られた写真です)

め、薬剤散布をできるだけ避ける必要があります。そこで福岡県では、当時の福岡県農業総合試験場・病害虫部の嶽本弘之さんが、天敵等を導入するこの栽培体系に理解を示して、現地の施設いちごで試験を始めたことがきっかけで、IPMへの取り組みが本格化しました。そうして、今ではハダニの有力天敵であるミヤコカブリダニとチリカブリダニを使った総合的な管理体系を開発し、現場で使える技術に仕上げるまでに至りました。現在はその技術を実証している段階だそうです。実際、今では県やいちご部会での資料にIPM専用の薬剤について、細かい説明が書かれているだけでなく、残効期間、天敵や訪花昆虫への影響に至るまで細かく書かれているほどだそうです。それだけ福岡県が、IPMに積極的で、先進的だということがうかがえます。

## 家族内協定を結んで農業をスタート！

福岡県内のJAいちご農家は、約1800戸だそうです。そのうち、八女地域のいちご農家は約550戸とのことですから、この地域がいかに、いちごの栽培が盛んなのかがわかります。

さて、今回取材した樋口さんは、そんないちご栽培の盛んな地域の中でがんばる若い農家さんです。樋口農園では、現在、いちご(700坪)、米・麦・大豆(計6ヘクタール)を栽培しています。家族構成は、お祖母さん、ご両親、ご夫婦の5人ですが、農作業は、ご両親、ご夫婦の4人でこなしています(ちなみにお兄さんも居られますが、現在、熊本県で農業研究センターの職員をされているそうです)。面白いことに、いちご栽培は樋口さんが主に担当、米・麦・大豆は、お父さんが主に担当、というふうに「住み分け」をしているそうです。その方が喧嘩しなくて良いのだとか…。樋口さんが就農したのは7年前。元々地元の農業法人で働いていましたが、お父さんから「帰ってこないか」と声をかけられ就農しました。就農する際、お父さんの申し出で、「栽培担当の住み分け、月給制とすること、休みに関しての決まり」などをきちっと決めてもらえたそうです。このような「家族内協定」を、実際に市役所まで出向いて調印をしたそうで、「あいまいになりがちなことをちゃんと決めてもらえたことで安心して農業に取り組めることになった」と樋口さん。こうして試行錯誤のいちご栽培人生がスタートしたのでした。



ハウスの全景

## 高設栽培とIPMで差別化を

樋口さんは、6棟のハウスと育苗施設でいちご栽培を行っています。栽培品種はすべて「あまおう」です。樋口さんのいちご栽培の特徴として、高設栽培であること、IPMを導入していることの2点が挙げられます。



ハウス内の高設栽培

高設栽培とは、高い位置に実がなるように設計された施設栽培法で、腰をかがめなくてよいので、特に収穫期は従来の土耕栽培に比べて省力化が期待できます。また、土に触れないので管理がやすく衛生的で、さらに炭疽菌の潜む土から遠いので、炭疽病予防にも効果的なのが特徴です。この高設栽培施設は、樋口さんが就農した際に、お父さんが従来の土耕栽培をやめて準備してくれたそうです。

IPMを導入したのは、樋口さんが就農した時です。「せっかくやるのなら、何か特徴を持ったやり方で栽培したい」と思っていた樋口さん。天敵防除の話を勧められて興味を持ったのがIPMを始めたきっかけだそうです。折りしも世間では、IPM技術が始まり天敵製剤も出回り始めた頃だそうですから、良いタイミングだったのかもしれません。ただ、化学農薬を全く使わないわけではなく、スポット的に使っています。一度でスパッと効く薬剤を効果的に使うことで全体の害虫密度をコントロールすることも大切だと考えているからです。とはいえ、天敵の導入で、実際に随分と化学農薬を減らせているそうです。化学農薬を減らすことで生まれるメリットについて、「安全性という意味あいもあるが、それよりも一番忙しい収穫期に薬剤をまかなくても良いなど作業性向上の面が一番大きい」とのこと。実際収穫期は農薬散布の時間なんて無いので、天敵を使っていれば、ゆっくりではあるが、勝手に密度を抑制してくれるので助かるそうです。

## やってみなければわからないのがIPM

「何か虫や病気が発生していないか?」とか、「天敵はちゃんと繁殖して増えているか?」など、常に気を配らないといけないのがこの栽培の苦労するところです。しかし、樋口さんは、その作業が大変というよりは楽しんでやっている風にも見受けられます。「最初にIPM栽培を始めた頃は失敗も多かったですよ」と、話は失敗談に続きます。ダニが既に発生してしまっているのに天敵を使ってしまい、充分抑えられなかったとか、ある種のアブラムシは化学農薬を使えば問題にならないのにIPMをやることで逆に生き延びるケースがあったなどなど…。しかし、やってみないとわからないのがIPM。失敗は明日へのヒントということで、次へその失敗を活かすことこそが大事と樋口さん。常に「これが増えたのはなぜ?」と解明を行い、次に活かすようにしています。実は樋口さんには力強い味方がいます。福岡県農業総合試験場 害虫担当の柳田さんです(ちょうどこの日も農園にいられていました)。柳田さんには1週間に1度来てもらって、IPM実践圃場ということで、いろいろアドバイスをいただいているそうです。樋口さんいわく「IPM等の新しい情報を持ってきてくださるので、それを剥ぎ取って身に着けている状態です」。そして、柳田さんいわく「こちらの圃場で天敵試験をやってもらっています。(樋口さんのような)先進農家さんのやっていることを、県に持ち帰り、地域全体の底上げに活かすことができるのでこちらも助かります」。このお二人の二人三脚のような関係は、樋口さんが就農した7年前から始まりました。その頃から樋口さんの圃場では、IPM実践圃場として農業総合試験場や八女普及指導センター、病害虫防除所などと連携を取って歩んできました。そういう意味でも樋口さんは、福岡県でのIPM技術確立に一役買って来たと言えるでしょう。



柳田さんからアドバイスを受ける樋口さん

## 「あまおう」はJAに全量出荷

樋口農園でのいちご栽培株数は、ハウス6棟で約18,000株です。目標収量は1坪あたり50パックだとのこと(このあたりでは、このような単位で話をする)。収穫は11月～翌年5月頃まで続きます。収穫時はどこの農家も大変です。樋口さんのところでは、収穫からパック詰めまでを行います。

本当に大変なところでは日に睡眠1~2時間でやっているとの話も聞くけれど、うちは高設栽培だし、両親も元気で手伝ってくれるのでまだマシかもしれないと樋口さん。

さて、天敵を導入しているということで、「天敵農薬は価格が高いイメージがあると聞きますが、実際どう思いますか？」と質問をぶつけてみました。すると、すべての労力(手間など)を考えると、天敵農薬は費用対効果でトントンだと思う。こういうことを考える時、自分の労力は感覚としてカウントしないことが多いので、高く感じるのかも。と、樋口さん。それだけ天敵農薬の導入にありがたみを感じているようです。



収穫間近のあまおう

こうして収穫されたいちごは、すべてJAに出荷されます。「あまおう」は福岡県のいちおしブランドなので全量買取りとなるそうです(しかも出荷量の規制は無し)。JAの買取り価格は、kgあたり約1000円以上とのこと。ただ残念なことに、慣行栽培の農家、IPM導入農家など、どの農家が持ち込んだものも、一律この価格で買取りされるということです。前述のとおり、福岡県はIPMに積極的かつ先進県ということでしたが、それでも、この「一律価格」というところに、IPMが大々的に根付かない理由があるのかもしれない。また、IPMの消費者認知度も低いのと、どこまでやればIPM認定なのかという基準がまだあいまいなため、それを「売り」にした販売が難しいというのも、その一因かと思われます。むしろ現在はIPMではなく、「高設栽培」ということをJAで売りにしてもらえています。高設栽培農家のいちごには、「高設栽培です」の写真・文字入りシールをもらえるので出荷時貼付できることになっています。「土耕栽培より衛生的で安心ということを謳っているようです。シールの写真は自分ですが、名前はなぜか父になっていますが(笑)・・・」と樋口さん。

## 人とのつながりを大切に！

農業を始めて7年の樋口さん。今後の目標を聞くと、いくつか答えが返ってきました。まずは、一貫した「IPM体系栽培」を確立させること、販売の面でIPMをアピールすること、そして、観光農園にも興味ありとのこと。なかでも、「IPM栽培をせっかく頑張っても販売時に付加価値がないと寂しい・・・」ということで、そもそも販売とは？販路拡大とは？といった販売面をもっと勉強をしたいと語気を強めます。またJ-GAP(下記参照)取得についても積極的です。先日説明会があったとのことで、今期の収穫期(11月~)から、J-GAP対応のチェック項目にチェックをしていくといった、いわば準備段階のようなことを実施しているそうです。

このあたりの地域では、樋口さんと同世代のいちご農家が、いちご部会の青年部を結成しており、月1回、栽培方法の情報交換や、販売状況の把握などで意見交換をするそうです。ちなみに、八女のいちご農家100軒中、28軒が40歳以下の後継者ありとのこと。このほか、「人とのつながりを大切に、いろいろ吸収したい」と思っている樋口さんは、自分から出かける以外に、自分の農園視察への受け入れを積極的に行っています。実際、IPM実践試験圃場となっているからか、頻繁に視察を行いたいという団体が来訪するそうです。主に県外からの視察が多かった中で、近々、県内からの視察を初



このような形で出荷(シール貼付あり)

受け入れすることになったとのことで、「何だか緊張します。でも、県内で認められたような気がして嬉しい」と顔がほころびます。このように、いろいろな人が来てくれて、情報交換できることを今後も大切にしたいとのことです。(それもあってか、我々の取材も笑顔で受けてくださいました)

## あとがき・・・

樋口さんのインタビューは2時間にも及びましたが、終始笑顔で、まっすぐな熱意を感じました。「現在は、JAに販路をまかせっきりだが、今後は販売や販路の勉強をするだけでなく、自分で販路を切り開けるような作物栽培に挑戦してみたい」とか、「慣行栽培で作ったものも、IPMで作ったものも買取単価が変わらないのであれば、無理せず今までどおりのことをしていても良いじゃないか!との考えもあると思うが、そこを打破して何かをやってみたい」などインタビュー中、たびたび「若さ」を感じました。



取材後にいただきました

休日には、祖母の家庭菜園を手伝ったり、旅行の好きな奥さんにいろいろ連れて行ってもらっていると、樋口さん。家庭菜園では「にんにく」も作っているそうですが、青森の住友化学にてウィルスフリー種子で作られている巨大なにんにくのお話をすると興味津々のご様子。また、旅行に行ったら行ったで「何か吸収できることはないか」というアンテナを張っているそうで、いろいろと、興味は尽きないみたいです。それでも「最近、考えが凝り固まってきているんです。もっと、自分にしか出来ないことを模索したい!」と樋口さん。その柔らかい

頭であれば、通常ならヒントにも感じないものも拾い上げることができるかもしれません。「何を何に化けさせるのか」これからが楽しみです。

J-GAPとは「農産物の安全、環境への配慮、生産者の安全と福祉、農場経営と販売管理を実現するために押さえるべき農場管理のポイントをまとめたもの」日本GAP協会ホームページ <http://jgap.jp/index.html> より引用

このインタビューは福岡県専門技術員 嶽本弘之先生のご協力で実現しました。  
ありがとうございました。

(佐伯・原田)

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介 **レインボー薬品株式会社**

## 知っていますか？正しいネズミの駆除方法

レインボー薬品は、ご家庭まわりの環境をきれいに整え保つための Home Improvement 商品（家庭環境改善商品）を幅広く取り揃えています。寒さが深まるこの時期、そんな当社に寄せられるお電話で増えるのが『ネズミの駆除について』のご相談です。

生活水準が向上した現代においてネズミの被害はあまり表面化しませんが、実はネズミは現代生活にもすっかり適合しており、都市部での被害も増加しています。特に気温が下がる冬は暖を求めて室内に入り込むネズミが増え、一般家庭でのネズミ被害が目立つのです。

**ネズミの被害**

- |                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 1. 「食べ物や家具、配線類をかじられた」          | 物理的な被害 |
| 2. 「ネズミのふんがある、ダニがついてきて体が痒い」    | 衛生的な被害 |
| 3. 「物音がして眠れない、ネズミがいると思うと不安・・・」 | 精神的な被害 |

ネズミは、「ネズミ算」という言葉があるように繁殖力の旺盛な動物です。環境への適応能力も高く、集団生活をするのがほとんどです。たまたま発見した1匹を駆除できたとしても、ネズミが好む住環境のままだと、その後も次々にネズミが侵入してくる可能性があり、根本的な解決とはなりません。まず大事なのは **ネズミの住みにくい環境をつくる** ことです！

具体的には ネズミの餌になるような物を放置しない。

壁の穴、配管の隙間などをできるだけ塞ぎ、ネズミが入り込めないようにする。

巣を作らせない。巣の材料となる紙や布、ビニールなどを放置しない。

といった行動が重要となってきます。**整理整頓がとても大切なのです。**

**ネズミが住みづらい環境を整えると同時に、侵入しているネズミは駆除しましょう。**

**ネズミ全滅作戦 その①：～殺そ剤を食べさせて退治する～**

レインボー薬品では、有効成分や形状の異なる数種類の殺そ剤を取り揃えています。発生状況や環境にあわせて選びましょう。

台所、床下、天井裏に：

**ネズレス、ネズレスH、ネズレスX**

流しの下、お風呂場、下水口、水周りに：

**耐水タイプのネズレスブロック、ネズレスブロックEX**

畑、果樹園、花壇などの屋外に：

**ネズレスプロ**



レインボー薬品のネズミ対策商品ラインナップ！

**ネズミ全滅作戦 その②：～逃がさず捕獲する～**

**ネズレスネズミ捕りカゴ用エサ**は、湿気に強く、腐ったりカビが生じたりしにくい無毒エサです。誘引効果が高く、市販の捕獲カゴに取り付けて使用します。

粘着シートは殺そ剤と併用すると、毒が回って警戒心が衰えたネズミがかかりやすくなるのでより有効です。

**ネズミ全滅作戦 その③：～忌避剤のニオイで寄せ付けない～**

忌避剤**ネズレスプロ**置くだけ、**ネズレスプロスプレー**はネズミが嫌がる臭いを発散します。手の届かない場所に入り込んでしまったネズミの追い出しにも有効です。

**ネズレスシリーズ製品を賢く利用し、  
安心して快適な家庭環境をつくりましょう！**

レインボー薬品株式会社  
東京都荒川区東日暮里 6 - 60 - 10  
お問い合わせ TEL 03 (6740) 7777  
平日 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)  
URL <http://www.rainbow-f.co.jp/>

【今月の肥料紹介】 米作りを変える。楽一が変える。楽一20W 上市のお知らせ！

# 楽一<sup>®</sup>20W



## 1. 楽一20Wの上市について

楽一は世界初の倒伏軽減剤入りの基肥一発肥料です。これまでの基肥一発肥料とは違い、**幼穂形成期の肥効を高めながら稈長の伸びを抑制することで、安定した作柄と品質向上を目指した基肥一発肥料**です。

今回は、新たに上市致しました楽一20Wのご紹介をさせていただきます。平成21年9月10日(木)付けで、農薬および肥料登録を取得致しましたので、本紙面をお借りし、お知らせ申し上げます。主な使用方法は下表の通りとなりますので、宜しくお願い致します。

## 2. 楽一20Wの特長について

楽一20Wは、既に上市済みである楽一20Sと比較し、より地力の高い地域・水田でも使用できるよう、窒素成分は同じですが、「ウニコナゾールP」の濃度を高くしており、**地力が高く窒素施肥量がより少ない地域にも対応できるように開発した側条施肥専用銘柄**です。

そのため、今までの楽一20Sで窒素施肥量を少なくしてもなお倒伏しやすい水田でもより高い効果が期待できます。また楽一20Wの施用量の適用範囲は下限が22.5kg/10a(窒素量で4.5kg/10a)と使いやすくなっております。各地の施肥基準にあわせて使用して下さい。

## 3. 楽一20Wの適用方法(農薬登録番号:第22451号、肥料登録番号:生第90143号)

銘柄	対象作物	推奨地域	N-P-K (%)	使用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a)	使用時期	使用方法	ウニコナゾールP (%)
<b>NEW</b> 楽一20W	水稲	北陸、 関東平坦部、 西南暖地	20-12-12	22.5 ~ 30	4.5 ~ 6.0	田植え時	側条施用	0.003
楽一20S			20-11-11	30 ~ 40	6.0 ~ 8.0	耕起~ 代かき時	全面施用 土壌混和	0.002
						田植え時	側条施用	

慣行施肥の窒素量を参考にしてください。

[目次へ戻る](#)

## 今月のお奨め農薬

## 施設栽培でのアザミウマ防除

今回はピーマン、トマト、なす、きゅうり、メロン、いちご等のハウス栽培でのコナジラミ防除について紹介しました。今回はコナジラミと同様に防除が困難なアザミウマの防除について紹介します。

アザミウマは総翅目(アザミウマ目)に属する昆虫で、世界的には約5000種が確認されており、ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、チャノキイロアザミウマ、ネギアザミウマ等多くの害虫が含まれます。「アザミウマ」とは変な名前ですが、薊(あざみ)の花の中に生息し、馬のようにピョンピョンと飛び跳ねるのでアザミウマと名付けられたようで、中国語でも「薊馬」と書きます。

アザミウマは我国では約200種確認されていますが、秋冬期のハウス栽培で防除対象として重要なアザミウマとしてミナミキイロアザミウマが知られています。本種は比較的最近海外から侵入したアザミウマです。正確な侵入時期は特定されていませんが、1970年代後半に発生が確認され、トマト、いちごを除いてピーマン、なす、きゅうり、メロン等のハウス栽培で大きな被害をもたらしています。アザミウマ類に適用のある薬剤は多数ありますが、この害虫が葉裏や花の中など、薬剤がかかりにくい場所に生息しているため、薬剤散布では完全には防除できず、生き残った虫がすぐに増加し、加害します。また、ミナミキイロアザミウマは各種の化学農薬に抵抗性を発達させているため、薬剤を何度も散布することになります。

**このように防除しにくいミナミキイロアザミウマの防除方法として、天敵を利用したIPM(総合的病害虫管理)をお奨めします。**その例として高知県などで実施されているピーマンのハウス栽培での防除体系を紹介しますので、参考としてください。



オリスター-A

**この防除方法は以下の順で実施します。**

- 1) ピーマン苗の定植時にベストガード粒剤を植穴に処理し、土壌を混和して苗を定植します。ベストガード粒剤はアザミウマのみならずアブラムシ類、コナジラミ類の防除も兼ねています。
- 2) 定植1ヵ月後、アザミウマ類の天敵であるタイリクヒメハナカメムシ(商品名:オリスター-A)を作物上に放飼します。オリスター-Aは弊社が選抜した系統であり、弊社独自の大量生産技術により製造されている天敵農薬です。
- 3) オリスター-Aを放飼してから、安定した効果が現れるのには、放飼した成虫が産卵し、多数の幼虫が孵化してある程度の大きさに発育する必要があるため、普通その期間は約3週間です。この間にミナミキイロアザミウマの発生が見られた場合はその被害を防ぐため、ミナミキイロアザミウマには効果を示すが、オリスター-Aには影響が少ないプレオフロアブルを散布してください。オリスター-Aが増殖すると、その高い捕食能力によってミナミキイロアザミウマの発生を長期間にわたって抑制します。

(山脇)

[目次へ戻る](#)



今月のご相談から

## スミレックスくん煙顆粒を「きゅうり／灰色かび病」防除に使いたいのですが、使用薬量はどのようになりますか？

**Q1** .「きゅうり」のハウス栽培で、スミレックスくん煙顆粒を使用したいのですが、使用薬量を教えてください。ハウスの大きさは、高さ3m×幅25m×長さ40mです。

**A1** .「きゅうり」に対する使用量は「6g/100 m<sup>3</sup>」です。ハウスの容積は、高さ3m×幅25m×長さ40m=3000 m<sup>3</sup>なので、必要薬量は「180g」です。この計算式は、6g×(3000 m<sup>3</sup>/100 m<sup>3</sup>)=180gとなります。スミレックスくん煙顆粒1袋は50g入りですので、**3袋+30g**になります。端数の30gはアルミホイル等で小分けしてご使用下さい。また、残った20gについては、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に**密封**して保管して下さい。



きゅうり灰色かび病

**Q2** .スミレックスくん煙顆粒の注意事項に、「あぶらな科作物(特に、だいこん、はくさい、ストック等)には薬害を生ずるおそれがある」との記載がありますが、どんな症状なのか教えてください。

**A2** .あぶらな科作物には「葉縁部の黄化や葉縁部主体に微小な葉斑」を生じることがありますので、施設内にこれらの作物がある場合には、使用をさけるなど十分注意して下さい。

**Q3** .スミレックスくん煙顆粒とダコニールくん煙剤を同時にくん煙しても問題ありませんか？

**A3** .農薬取締法上は問題ありませんが、煙害等の薬害の有無については不明です。

**Q4** .スミレックスくん煙顆粒に点火したら、顆粒が燃え出してしまいました。このような事は起こるのでしょうか？

**A4** .点火のやり方によっては燃えることもあります。注意事項に記載してあるように、点火紙や顆粒が燃える場合は、**直ちに炎を消して白煙を出させて下さい**。

**Q5** .製品にはアルミホイル4枚と点火紙が5枚入っています。アルミホイルが1枚不足しているのではないのでしょうか？

**A5** .この枚数で間違いありません。予備として1枚多く入れてあります。

**Q6** .スミレックスくん煙顆粒を処理後、何日くらい間隔を空ければ「ミツバチやマルハナバチ」を放飼出来ますか？

**A6** .ミツバチ、マルハナバチとも、「1日」空ければ放飼出来ます。

**Q7** .重油燃料でハウスを加熱していますが、効果面で問題はありますか？また、サーキュレーターを使用した方が良いでしょうか？

**A7** .重油燃焼での加熱中でも、効果面の問題は 없습니다。また、サーキュレーターを使用した方が、ハウス全体に薬剤がいき渡ります。

**Q8** .小分けして使用する場合は、どのような注意が必要ですか？

**A8** .スミレックスくん煙顆粒は、小分けして「くん煙」が出来ることも特長です。所定量をアルミホイルに分包し、ダンゴ状にして点火紙を差し込んで火を着けてください。この際、アルミホイルの口を絞り過ぎると、煙が出難くなるのでご注意下さい。

(小川)



スミレックスくん煙顆粒

[目次へ戻る](#)



# お役立ちプチ情報

## 適用表と注意事項の確認

今月の話題は・・・

### ラベルに記載されている適用表や注意書きの確認

ラベルの内容は十分確認してください。  
もし、適用外の使用をすると、その作物は出荷できません。

#### ダントツ水溶剤のキャベツに対する適用例

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 散布量	使用 時期	総使用回数	使用 方法
キャベツ	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300ℓ	3日前	本剤：2回 ケブチン：#8	散布
	アオムシ・コナガ	2000倍				

※：2回（は種時の散布、育苗期の株元処理及び定植時の土壌処理は合計1回、散布は2回）

●ダントツ水溶剤の有効成分クロチアニジンのキャベツでの使用回数は種、育苗期、定植時の処理はダントツ殺剤の使用回数

### 注意喚起マークのチェック

農薬の使用にあたってはマスクや手袋の使用は常識ですが、特に注意を要する農薬には注意喚起マークがつけられています。

#### 注意喚起マークの種類と注意の内容

種類	注意の内容
	散布液の調製時も、散布作業中も、必ず性能のよい防護マスクの着用を必要とする農薬。くん蒸剤については防毒マスクを着用する。
	眼に入ると障害を起こしたり眼のふちがかぶれるおそれが高い農薬。調製時だけでなく、散布中も防護めがねを着用する。
	皮膚から浸透したり、皮膚に障害をおこすおそれが高い農薬。
	散布時は、不透水性防除衣を着用する。作業後は直ちに身体を洗い、衣服を替える。
	皮膚かぶれを起こしやすい農薬。
	水産動物に対してとくに注意する農薬。
	蜜に長時間毒性があるので、付近に桑園がある所では使用しない。
	必ず農薬保管庫(箱)に入れ、カギをかけて保管する。

お客様相談室にお寄せいただいたお問い合わせを参考に、農薬を使用する上でのポイントや基礎知識等をまとめました。

お客様の中にはラベルを見ずに使用し、失敗している方がいます。農薬の使用にあたっては必ず適用表や注意書きを確認してください。

新コーナー2回目です。ラベル内容の確認は農薬使用での基本です。ラベル内容を確認し、その範囲で正しく農薬を使用してください。

次回は・・・**散布液の調製・散布後の処理及び保管方法**についてです。お楽しみに



(山脇・手塚)

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報** 11月18日～12月16日の主な適用拡大の内容です

## 適用拡大

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	エスマルクDF	使用回数 変更	左記薬剤についてはいずれも 全ての適用作物の本剤の使用回数およびBTを含む農薬の 総使用回数の制限がなくなりました			
	クオークフロアブル					
	ゼンターリ 顆粒水和剤					
	バイオマックスDF					
	フローバックDF					
	アグロスリン水和剤	作物追加	ミニトマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ	2000倍	収穫前日まで 2回以内 散布
		使用回数 変更	りんご	本剤の使用回数およびシペルメトリンを含む農薬の総 使用回数を「5回以内」「2回以内」に変更		
		使用時期 変更		「収穫14日前まで」「収穫前日まで」に変更		
		害虫名 変更	りんご	モモシンクイガ シンクイムシ類に変更		
	かき		チャノキイロアザミウマとカキクダアザミウマ アザミウマ類に変更			
	アグロスリン乳剤	作物追加	にら(花茎)	ネギアザミウマ ヨトウムシ類 ネギコガ ハモグリバエ類	2000倍	収穫前日まで 3回以内 散布
	ゲットアウトWDG (北海道限定)	作物追加	えだまめ	アブラムシ類 マメシンクイガ	3000倍 100～300L/10a	収穫7日前まで 3回以内 散布
		希釈倍数 変更	たまねぎ	アザミウマ類	2000～3000倍 100～300L/10a	収穫7日前まで 5回以内 散布
	ジメトエート乳剤	害虫追加	なつみかん	カネタタキ ゴマダラカミキリ 成虫	1000倍	収穫90日前まで 2回以内 散布
		害虫追加	かんきつ (みかん、 なつみかん を除く)	ミカンハモグリガ ミカンコナジラミ コナカイガラムシ類	1000～1500倍	収穫90日前まで 2回以内 散布
アブラムシ類 ハダニ類				1000～2000倍		
ヤノネカイガラムシ カネタタキ ゴマダラカミキリ 成虫	1000倍					

殺虫剤	ダイアジノン 水和剤34	害虫追加	おうとう	ウメシロカイガラムシ	1000倍	収穫14日前まで 2回以内 散布
		害虫名 変更	日本なし 西洋なし	「クワコナカイガラムシ若齢幼虫」 「コナカイガラムシ類若齢幼虫」に変更 「ナシヒメシンクイ」 「シンクイムシ類」に変更		
	ダイアジノン 乳剤	害虫追加	たまねぎ	タマネギバエ	700倍	収穫21日前まで 2回以内 散布
		希釈倍数 変更	たまねぎの アザミウマ類にかかる部分			「1000～1200倍」 「700～1200倍」に変更
パダン SG水溶剤	作物追加	ふき (ふきのとう)	アザミウマ類 アブラムシ類 フキノメイガ	1500倍	収穫120日前まで 2回以内 散布	

種類	薬剤名	作物	変更点	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺菌剤	ベンレート 水和剤	はくさい	使用時期変更	白斑病	2000倍	収穫14日前まで 収穫7日前 まで
			使用回数変更 (本剤)			4回以内 2回以内
		トマト	使用回数変更 (本剤)	萎凋病	1000倍	3回以内 2回以内
				菌核病	2000倍	5回以内 3回以内
				葉かび病 灰色かび病	2000～3000倍	
		なし	使用時期変更 使用回数(本剤) 変更	輪紋病 胴枯病	2000倍	収穫7日前まで 収穫前日まで
				黒星病 うどんこ病	2000～3000倍	
心腐れ症 (胴枯病菌)	3000倍					

(佐伯)

[目次へ戻る](#)

**病害虫発生情報**

12月8日～12月16日

**東京都**\*12月14日 注意報 **ねぎ / べと病**

当社登録剤:ダコニール1000

詳細は:<http://www.jppn.ne.jp/tokyo/>**岐阜県**\*12月10日 特殊報 **茶 / ミカントゲコナジラミ**

当社登録剤:ランネート45DF

詳細は:<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s24321/>**長崎県**\*12月15日 注意報 **きゅうり / べと病**

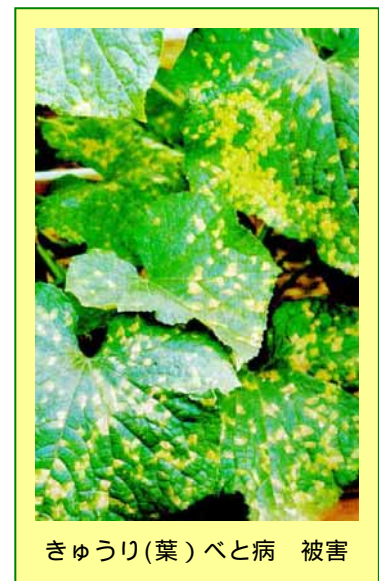
当社登録剤:ダコニール1000

\*12月15日 注意報 **いちご / うどんこ病**

当社登録剤:サプロール乳剤、ポリオキシンAL水溶剤「科研」

詳細は:<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

ねぎ べと病 被害



きゅうり(葉) べと病 被害



いちご うどんこ病 被害

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(手塚)

[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪♪

## 農家さん訪問記グルメ編(福岡)

**皆さん、今月号の「農家さん訪問記」読んでいただけましたか?**福岡のいちご農家さん、若々しさ溢れる方だったでしょう?こちらまで「フレッシュさ」をいただいてしまいました(若さ吸い取り成功!)。このような「農家さん取材」では、通常デスクワークの私もオフィスを離れて現場を見に行けるので大変勉強になります。また、普段は電話でしか話をしない営業さんにも会えますし、うまくいけば営業所にも立ち寄れるなど、実は取材自体以外にも得るものは多いのです。あとは、やっぱりその土地の「美味しいもの」にもめぐり合える確率が多い!というのも、密かな楽しみです。今回は、福岡ということで日帰り出張でしたが、そっちのほうも堪能してきました!!ということで、今月の本コーナーは、農家さん訪問記グルメ編となります(笑)。

**日本各地には、その土地その土地に美味しいものがあるわけで、**「取材第一だけど、あわよくば、何か美味しいものを!」と密かに期待しつつ出張取材に出る私。今回は、中でも美味しいものだらけの「福岡」です。「日帰り出張でバタバタだけど、せめてとんこつラーメンくらいは・・!」と思っていたのですが、今回は営業所の皆さんのおかげで、たくさんの美味しいものにありつけました。

**まずは、うどん。**「福岡はラーメンだけでなく、実はうどんが美味しい」というのは知っていました。なので、農家さん訪問前の腹ごしらえということで「お昼はうどんだよ」と営業さんに言われた時、心が小躍りしたものです(笑)。写真が無いのですが、お店では「キノコうどん」を注文。まずダシが美味しい!もともとのうどんのダシと、キノコからのダシが混ざって深い味わい。うどんもコシがあって噛み応え十分。しかも、天かす入れ放題!これで500円しないなんて!いや~素晴らしいコストパフォーマンスに脱帽です。美味しいお昼を食べた後は、いざ取材へ!ここで、しっかりと取材をしつつ、取材最後にはあの「あまおう」をいただく。なんて贅沢なデザートなんだ!!とここでも一人感動。今回は、もうこの時点で「この取材でのグルメ的要素は満たされた・・」と思っていたのですが、ところがどっこい!「福岡さん」の本気はこれから始まるのです。

**夜は福岡天神にて。**実はこの日はたまたま金曜日。せっかく福岡まで来ているんだから、と、営業所の皆さんがなんと取材陣を歓待してくださいすることに(感謝!!)。ここでは、福岡はもとより九州の底力を見せつけられました。おいしいお酒に、福岡の活ヤリイカ姿盛やら、熊本の馬刺、長崎のごまさばなど、九州各地の名物料理がずらり。それだけでも嬉しいのに、加えていつも電話でしかお話できない皆さんとの会話。これが何より楽しいのです。帰りの飛行機(羽田行き最終便)まで、ねばっていましたが時間切れ。最後はバタバタとお別れしました(申し訳ない)。こうして、興味深い取材内容と美味しいものの余韻、そして皆さんとの楽しい時間を体いっぱい詰め込んで、最終便に駆け乗ったのでした。

このたびは、営業所の皆さん、ありがとうございました。

(佐伯)

ちなみに飛行機に駆け乗る前の数分間・・・本社留守番組への「とおりもん」、自分への「ざびえる」、同じく自分への「明太子」など、寸暇を惜しんで九州土産を買ったのでした(笑)。満足!!

コレなーんだ?(下の写真へ)



実はこのヤリイカの成れの果て(刺身以外は天麩羅になる運命)

### コラム・そば談義 60

そばを打ち始めて7年以上経つが、そば打ちというのはしんどいということを改めて実感している。

毎年、新そばの季節になるとテニス仲間に恒例となったそば振る舞いをする。先日も自宅でせっせとソバを打ち、仲間が集まるクラブハウスで食べてもらった。今回は、ひと月前に新調した捏ね鉢で打った。それを見ていた息子に「父さん、これ業務用ではないの？本当に蕎麦屋を始めるの？」と呆れられた。購入した理由は、色々な会でそばを打つ機会が増えたことだ。また、人数も10名分以上打つことが多くなったことだ。そのため、今まで使っていた15寸の捏ね鉢では粉が飛び散り、鉢も軽くてぐらつきこねづらかったのである。そこで、旅行で女房が留守にした隙を狙って、浅草のかっぱ橋道具街で購入した。その時、鋼のソバ切り包丁も欲しくなり、ものの弾みではないが、つい手が出てしまった。20寸もある捏ね鉢はずっしりと重く、自分から云うのもなんだが表面は本漆塗の立派なものである。また、手作りの包丁は作者に名入れをしてもらった。



イラスト：川俣さん

後日、自宅に届いた捏ね鉢は、店で観たよりすごく大きく見え、何だか我が家にそぐわないと一瞬気がひるんだが、すぐに気を取り直して趣味というものは道具に凝るものだと自分に言い聞かせ、女房の帰りを待った。帰宅した女房から開口一番「こんな大きなものをどこに置くつもりなの？少しは考えて買ってよね！」と厳しい言葉が返ってきた。そして、暫くは捏ね鉢を見る度に小言を聞く破目になったが、それをじっと耐えて、今は小言の回数が減りつつある。その捏ね鉢の使い勝手だが、1キロぐらいのそばなら一杯捏ねても安定感抜群でビクリともしない。また、新調の包丁も、スコーン、スコーンと小気味よく切れ、両方とも満足している。

さて、冒頭のそば打ちはしんどいという話のだが、「美味しいそば」は水回しの水分含量でほぼ決まる。水を多く加えたそばは、茹で時間を短くしてもコシが出ない。しかし、水を極力少なくして打ったソバは、少々長く茹でてでもコシがある。しかし、である。この水分の少ないそばを捏ねて延ばすには、大変な力がある。大汗を掻き、打ち上げたときには、体力を使い果たしてぐったりする。商売ともなれば、毎日がそば打ちである。これはかなりつらいものがある。その証拠に、蕎麦屋で「アルバイト募集」の貼紙があり、文面には「そば打ちをしてくれる人」と書いている。

さて、近々そば打ちセットを車に積み込んで、大阪までそば振る舞いに出かけてくる。当日は、女房の実家(岸和田市)で20食分のそばを打つ。翌日は堺の知人宅でパーティーがあり、ここでも20食分のそばを打つことにしている。多分、帰りは疲れ果てて高速道路のサービスエリアで休憩を繰り返すだろう。そう思いながらも、本人は気に入った捏ね鉢でコシのある美味しいそばを大阪の人たちに食べてもらおうと、今からワクワクしているのである・・・(古津)

### ～ 編集後記 ～

今月の編集後記は佐伯が担当します。

毎月ご覧くださっている皆様はお気づきでしょうが、農家さん訪問記は、だいたい6人のスタッフが二人一組となり、持ち回りで取材+執筆を行っています。取材したことを人に読んでもらう「読み物」にするのは簡単なようでいて、実はとても難しい作業です(なにしろ、素人が書くわけですから)。でも、- 農力だよりの中でも訪問記が一番人気の記事。これからも皆さんに喜んでいただけるようスタッフ一同がんばりますので、どうぞこれからもよろしくお祈りします。今年も終わり。ご愛読いただいている皆様に感謝を込めて・・・

**「良いお年を！来年もどうぞよろしくお祈りいたします！」**

(予告)来年早々、毎年恒例アンケートを実施します！  
どしどしご意見お寄せください！



皆様のおかげでござます

2009年12月某日 (佐伯)